

【10】 情報 の学習について

1 必履修・自由選択科目について

「社会と情報」

2 履修上の注意点

「社会と情報」は必履修科目であるため、午前部・午後部は1年次、夜間部は2年次での履修を原則とする。

3 教科目標、履修について

(1) 教科目標

情報および情報技術を活用するための知識と技能を修得させ、情報に関する科学的な見方や考え方を養うとともに、社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てる。

(2) 評価観点及びその趣旨、方法

ア 観点及び趣旨

関心・意欲・態度	情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。
思考・判断・表現	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を生かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。
技能	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。
知識・理解	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。

イ 評価の方法

項目	達成評価	活動評価
観点		
関心・意欲・態度		出席 ノート 教師の観察 問題集 自己評価 小テスト 検定試験
思考・判断・表現	考査	ノート 問題集 プリント
技能		実習課題
知識・理解	考査	小テスト 問題集 プリント 検定試験

(3) 実技・実習等

情報関係の専門知識だけでなく、キーボード・マウスを利用した実技・実習をおこない、パソコン入力スピード認定試験以上の実技技能を養います。

(4) 留意事項

「コンピュータ室」の使用は、[コンピュータ室使用上の注意]を遵守し、使用してください。

教科 情 報

科 目 名	社会と情報	単位数	2	履修区分	必履修科目
対象の部	午前 午後 夜間	使用教科書	高等学校 社会と情報（第一）		
		使用教材	ビジネス文書実務検定速度部門問題集（実教）等		
履修の条件	午前部・午後部は1年次で夜間部は2年次での履修が望ましい。	教材費等			
特 色	教科書などで情報の専門知識を習得するとともに、パソコン実習も行いパソコン入力スピード認定試験以上の実技技能を養います。				
主 な 学 習 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ① 情報の活用と表現 ② 情報通信ネットワークとコミュニケーション ③ 情報社会の課題と情報モラル ④ 望ましい情報社会の構築 				
備 考					